# **EUROPEAN PATENT OFFICE**

## **Patent Abstracts of Japan**

**PUBLICATION NUMBER** 

03280663

**PUBLICATION DATE** 

11-12-91

APPLICATION DATE

29-03-90

APPLICATION NUMBER

02078898

APPLICANT :

CANON INC;

INVENTOR: UENO TOSHITAKE;

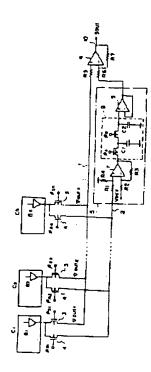
INT.CL.

H04N 1/40 H04N 1/028 H04N 1/04

H04N 5/335

TITLE

PHOTOELECTRIC CONVERTER



ABSTRACT :

PURPOSE: To obtain a signal output without a step difference by applying subtraction processing to an offset level included in a signal level for each sensor chip to eliminate the

level.

CONSTITUTION: An offset level latch means 5 receives an offset level outputted for each reset period from plural sensor chips C<sub>1</sub>-C<sub>n</sub> respectively via a common output line 2 to keep the level constant for a signal period after the reset period. Then an offset level subtract means 6 receives an offset level kept constant by the level latch means 5 and a signal level outputted via a common output line 1 from the sensor chips C<sub>1</sub>-C<sub>n</sub> for the signal period to apply subtract processing to the offset level included in the signal level thereby eliminating the offset level included in each signal level obtained in time difference from the sensor chips C<sub>1</sub>-C<sub>n</sub>. Thus, a signal output without step difference is obtained.

COPYRIGHT: (C) JPO

THIS PAGE BLANK (USPTO)

19日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

## ◎ 公 開 特 許 公 報 (A) 平3-280663

®Int. Cl. ⁵

識別記号

庁内整理番号

④公開 平成3年(1991)12月11日

H 04 N

1/40 1/028 1/04 5/335 101 A A 103 Z Z

9068-5C 9070-5C 7245-5C

7245-5C 8838-5C

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全5頁)

❷発明の名称 光電変換装置

②特 額 平2-78898

②出 類 平2(1990)3月29日

⑩発 明 者

勿出 願

上 野 勇 武 キャノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

四代 理 人 弁理士 山下 篠平

us 141 .15

1 発明の名称

光氣変換装置

2. 特許請求の範囲

(1) 概数のセンサチップからそれぞれのリセット期間ごとに出力されるオフセット電位をオフセット電位出力用の共通出力線を介して入力し、そのリセット期間の後の信号期間中、一定に保つオフセット電位保持手段と、

前記オフセット電位保持手段により保持されているオフセット電位と前記信号期間中に対応するセンサチップから信号電位出力用の共適出力線を存して出力される信号電位とを入力し、その信号電位に含まれるオフセット電位を減算処理するオフセット電位減算処理するオフセット電位減減

から構成されることを特徴とする光電変換器 置。

(2)前記オプセット電位保持手段が容易手段で あることを特徴とする請求項(記載の半導体装置。 3 発明の詳細な説明

**『産業上の利用分野』** 

本発明は、光電要換装置に関し、特に複数のライセンサチップから構成される「貼り合せセンサ」を有する光電変換装置に関する。

1提来の技術」

複数のラインセンサチップから構成され、時差的に引号出力を得る「貼り合せセンサ」を軽する 従来の光電変換装置においては、第3 箇に示すように各センサチップからの信号は直接に共通出力 検に出力されるように構成されている。

- 1.倉明が解決しようとする課題!

そのため、各センサチップに設けられている出 カバッファのオフセット電位がそのまま出力電位 に現れ、全体として第4回に示すように出力信号 Sourcidセンサチップごとに Vource Vouのような段差のある電位が得られ、SZN比 低下の額倒となっていた。

本発明は、上記問題点を解決するためになされたらので、その得的は各センサチップからの出力

#### 特開平3-280663 (2)

1/4

に含まれるオフセット電位を減算処理し、センサ チップごとの段素のない信号出力を得ることので きる光電変換装置を提供することにある。

#### 【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本願の第1の発明の光電変換装置は、複数のセンサチップからそれぞれのリセット期間ごとに出力されるオフセット電位をオフセット電位出力用の共通出力線を開中、一定に保つオフセット電位保持手段と、前記オフセット電位保持手段により保持されているオフセット電位に前記は日期間中に対応するとして出力される信号電位とを入力し、その信号電位とから構成されている。更に第2の発明では前記オフセット電位保持手段とから構成されている。更に第2の発明では前記オフセット電位保持手段と発生手段により構成される。

#### [作用]

オフセット電位保持手段は、複数のセンサチッ

びくオフセット電位出力用の共通出力線2、共通 出力線」と各センサチップとの間にそれぞれ設け られた信号電位出力用の第1のスイッチ手段3、 共通出力線2と各センサチップとの間にそれぞれ 設けられたオフセット電位出力用の第2のスイッ チ手段4、共通出力線2により導びかれるオフ セット電位を入力して対応するオフセット期間の 後の信号期間中に一定に保持するオフセット電位 保持手段5、及びオフセット電位保持手段5によ り保持されているオフセット電位と共通出力線! により導びかれる対応するセンサチップから出力 される信号者位とを入力し減算処理するオフセッ ト電位鍼算手段であるಪ動物幅器6から構成さ れ、オフセット電位保持手段5は、共通出力線2 により各センサチップのオフセット電位を入力 し、一定の直流電位 Vャャャ との差電圧を出力する 差動増幅器で、及び差動増幅器でから出力される 電圧を借号期間中に一定に保つ容量手段8から橋 成され、容量手段8は差動増幅器6の出力電圧を

リセット期間中の一定期間一定に保つためのコン

プからそれぞれのリセット期間ごとに出力される オフセット電位をオフセット電位出力用の共通出 力額を介して入力し、そのリセット電位最初を介して入力し、そのリセット電位最初を介して入力し、そのリセット電位最初を は、前記オフセット電位保持手段により一規では、前記オフセット電位を新記信号期間の共通 対応するセンサチップから信号電位とを入力に 出力線を介して出力される信号電位とを入力等が出 との信号電位に含まれるオフセット電位を確かった。 理する。以上のようにして、複数のセンサチック 理する。以上のようにして、複数のは分類が できるオフセット電位を除去する。

#### 【実施例】

本発明を図面を参照して説明する。

第1回は本発明の一実施例の回路図であり、第 2回はその動作波形図である。

図において、本実施例の光電変換装置はセンサチップ C ... C ...... C ... から出力される信号電位を導びく信号電位出力用の共通出力線 1 ... るセンサチップから出力されるオフセット電位を導

デンサC 1 及びコンデンサC 1 で一定に保たれた 常圧を入力し信号期間中に一定に保つためのコン デンサC 2 から構成される。なお、C i . C i . … . C i はセンサチップ、B i . B i . … . B i はパッファ増幅器、9は信号出力の負帰環防止用 のパッファ増幅器である。

次に、上記構成による本実施例の動作について説明する。

まず、時報も、において、クロック。」が立とると、センサチップCIの出力V。」のオフセット電位が差動増幅器での正例入力端子に入力されれ、差動増幅器でからは負例入力端子に入力されている基準電位 V。c。との差電力が出力される。さらに、時刻も、において、4、が、時刻も、において、4、が、時刻も、において、4、が、時刻も、において、4、が、時刻も、において、4、が、時刻も、において、4、が、時刻も、において、4、がで下り、容量CIは定動増幅器でから切

持開平3-280663 (3)

り離される。

のに、時刻で、において、クロック・・1及び・・が立上ると同時にセンサチュブC 1 から光信号が出力される。この時、容量C 1 とC 2 の比率をC 1 /C 2 → 1にしておけば、クロック・・が立上ると、容量C 1 の電位はほとんど容量C 2 に転送され、さらに、その電位はバッファ増幅器 6 の負債人力選子には、であり増幅器 6 の正側入力選子には、センサチップC 1 の信号電位が設出されるので、出力落子1 0 には、これらの差電圧、すな地位というでは、これらの差電圧、すな地位というでは、たまなりには、これらの差電圧、するとしては、でありまれる。その後時刻によいによいて、クロック・・が立下り、容量C 2 は、容量C 1 から切り載される。

 位が存在しても、その影響はセンサチップです。 です。…。ですに対しては同じであるから最終出 月S++・のチップ間の段差としては全く現われな。

#### (発明の効果)

以上説明したように本発明によると、センサ チップごとに信号電位に含まれるオフセット電位 を興算処理して除去するようにしているため、 段 差のない信号出力を摂ることができるという効果 がたる

#### 4. 図面の簡単な説明

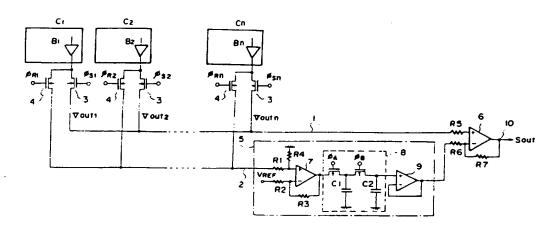
型1回は本発明の一実施例の回路図、第2回は 第1回の実施例の動作波形図、第3回は従来の光 電変換装置の回路図、第4回は第3回の光電変換 装置の出力波形図である。

図において、1. 2 は共通出力線、3 は第 1 のスイッチ手段、4 は第 2 のスイッチ手段、5 はオフセット電位保持手段、6. 7 は差動増幅 器、8 は容整手段、C 1. C 2 はコンデンサ、 C...Cr................ C - はセンサチップ、B - .

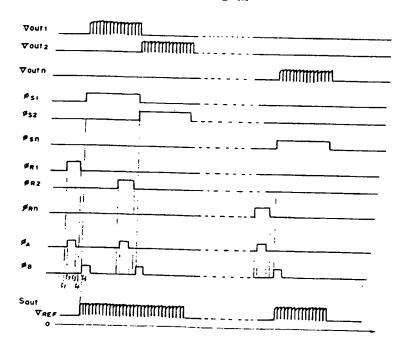
Bachel Baはパップス増幅器である。

代理人 弁朗士 山 下 榛 手

第 / 図

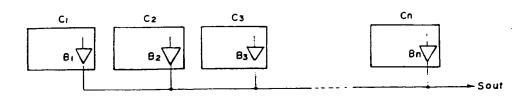


第 2 図

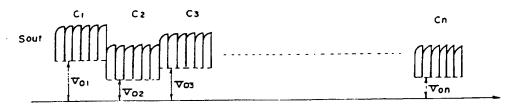


## 特開平3-280663(5)

# 第 3 図



# 第 4 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

# BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:	
☐ BLACK BORDERS	
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES	
☐ FADED TEXT OR DRAWING	
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING	
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES	•
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS	
GRAY SCALE DOCUMENTS	
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT	
REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY	
LOWITE	

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)